



GREEN×EXPO 2027応援企画

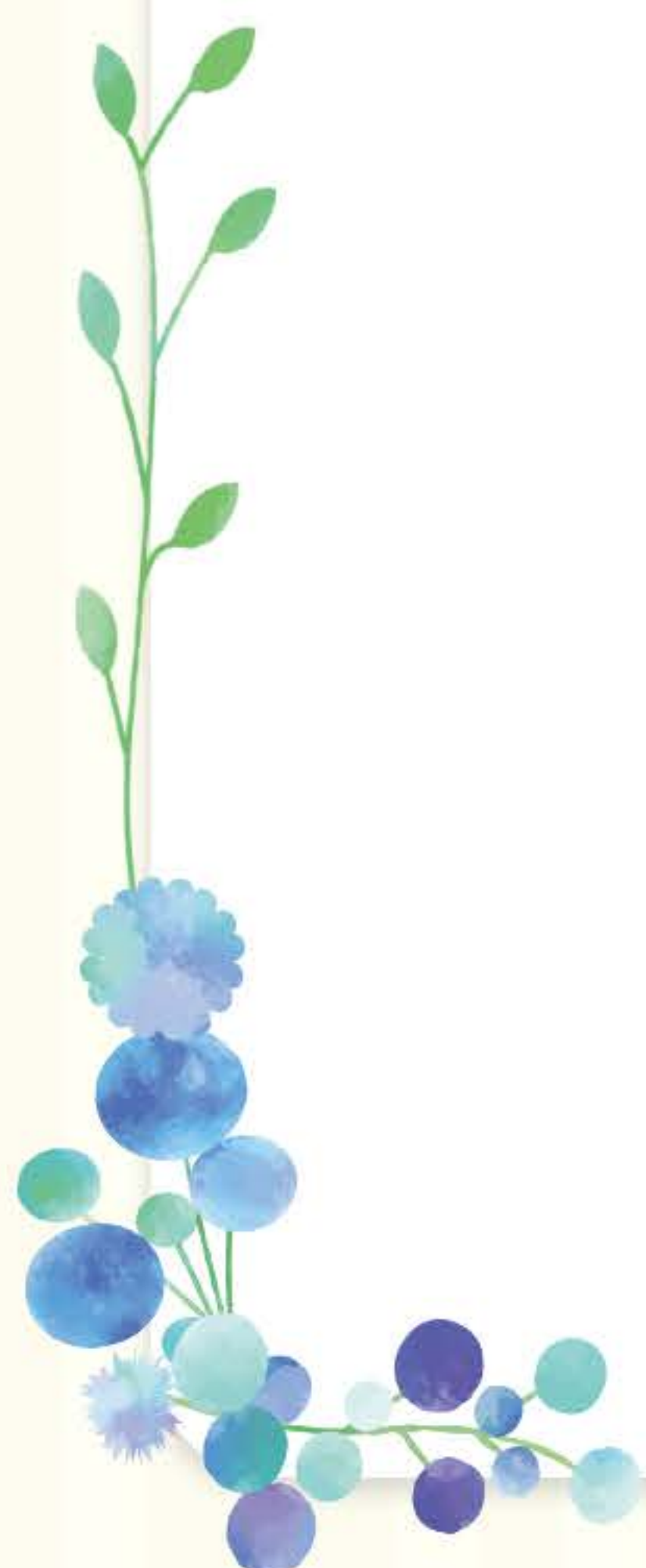


今日から使える 花知識

Flower knowledge

第4回

花をいけるポイント



私たちの暮らしに彩りを与えてくれる花。そんな花をもっと楽しむために、役立つ豆知識をお届けする連載企画。第4回は花をいけるときポイントを紹介します。

花をいける 3つのポイント

POINT

1

主役・脇役・グリーンで役割分担



花をいける前に、まず役割を決めましょう。一番目立たせたい「主役」の花、主役を引き立てる「脇役」の花、全体をまとめる「グリーン」の3つに分けると、バランスがとりやすくなります。それぞれの植物の個性を活かせます。

POINT

2

いける順番は「主役」から



まず主役の花からいけ、全体の構成と高さ、花瓶の正面を決めます。次に、主役を囲むようにグリーンを配置し、ボリューム感と奥行きを出しましょう。最後に、脇役の花で隙間を埋めるように彩りを加えればバランスよくいけられます。





三角形を意識する



花の頂点を結んだ時に、不等辺三角形になるよう意識すると、自然で美しいバランスになります。全てを同じ高さにせず、一番高い花を決め、そこから低い花へとつなげるイメージで高低差をつけると、立体感と動きが生まれます。

ワンポイント

花知識

剣山を使って 気軽にいける方法



花を立てていけることが難しい場合、気軽に使えるのは華道で用いられる剣山（けんざん）。花の茎をしっかりと固定し、美しく配置してくれます。剣山を使うことで、花をしっかりと立てられ、好みの傾きを楽しむことも。日常使いにも役立つ一品です。

プラスアルファの裏技



間口の広い花瓶でも花がまとまる裏技

間口が広い花瓶は、花が傾いたり広がったりしがちです。そんな時は、花瓶の口にお気に入りの柄のマスキングテープを格子状に貼ってみましょう。テープのマス目が花の支えとなり、茎を好きな位置に固定できて簡単に形が整います。

監修・撮影協力：株式会社日比谷花壇

GREEN × EXPO 2027

～次の万博は、横浜で。～

2027年3月19日から9月26日まで神奈川県横浜市で開催されるGREEN×EXPO 2027は、本年3月19日に開催1年前を迎えます。300者以上の出展者が花や緑で会場を彩り、政府出展では「未来咲きガーデンプロジェクト」として高校生グループが制作する花壇も準備を進めています。海外からも多くの国が参加する予定です。大阪・関西万博の次は横浜のGREEN×EXPO 2027に足を運んでみませんか。



画像提供：GREEN×EXPO協会